

ORE名古屋 伏見ビル



所在地：愛知県名古屋市中区錦2丁目901-1他(地番)
 建築面積：1,598.04㎡
 延床面積：17,092.82㎡
 構造・規模：鉄骨造(免震構造)、地上11階、塔屋1階建
 事業主：オリックス・リアルエステート(株)
 設計・施工：戸田建設(株)一級建築士事務所
 電気工事：(株)トーエネック
 竣工：平成16年2月

強固なCFT造と免震構造、情報化・IT化に対応したハイグレードなスペック、市内でもトップクラスの天井高とフロア面積など、高度な安全性・機能性・快適性を兼ね備えた「ORE名古屋伏見ビル」。照明はシステム天井器具を採用し、用途に応じて快適な執務環境を創り出しています。

明るく広々としたワークスペース、高度な安全性・機能性が装備されたオフィスビル

本年2月に名古屋市内に竣工した地上11階建ての「ORE名古屋伏見ビル」は、強固なCFT造としなやかな免震構造を併用した躯体で、対東海地震への万全な備えをもった設計としたテナントビルです。柱のないオフィスエリアは天井高2.72mを確保しており、明るく広々とした快適な執務空間を演出しています。また情報化・IT化の現代のビジネスシーンに対応したOAコンセント用電源50VA/㎡の供給をはじめ、ヘビーデューティゾーン790kg/㎡、光ファイバー引込配管の設置などハイグレードな機能性を備えたビジネス空間を実現しています。

増灯対応形・OAルーバ取付可能形のシステム天井器具を採用し、用途に応じて適切な照明環境を創出

オフィスエリアの照明は、間仕切りへの対応や省エネ化、照度分布の均一化、器具の効率化などを考慮し、フレキシブルに対応できる、3,200mm×3,200mmモジュールのシステム天井が採用され、設備機器を全てライン状に配置したシンプルな天井構成としています。照明器具はTバー間隔240mmの空調リターン付32WHf蛍光ランプ2灯用埋込器具(増灯対応形、OAルーバ取付可能形)を採用し、机上面平均照度は700lxを確保しています。VDT作業を必要とするエリアにはOAルーバを設置対応し、用途に応じて適切な照明環境が創り出せるようにしています。

エントランスホールは天井高さ約3.5mで、床は御影石貼り、壁は大理石貼り仕上げとしたグレード感の高い開放感豊かな空間を形成しています。照明は溝状に掘り上げた艶消し黒塗装の4列のスリット内に57Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトを設置し、天井に高質なストライプの光のアクセントを与えながら、開放的な空間に調和のとれた光環境を演出しています。



オフィスフロアの照明：システム天井に空調リターン付32WHf蛍光ランプ2灯用埋込器具を設置



中会議室の照明

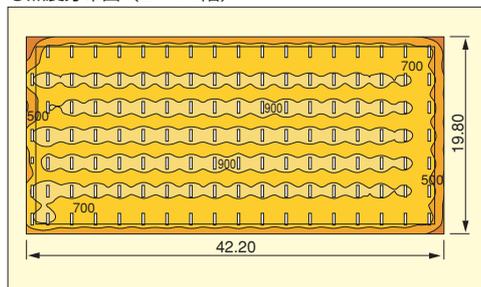


エントランスホールの照明：スリット内に57Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトを配置



小会議室の照明

●照度分布図(2~11階)



■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
オフィス・会議室	システム天井器具	FHM-42421-PH	1,640	32WHf蛍光ランプ×2
エントランスホール	ダウンライト	FHD-51001-PM	20	57Wコンパクト形蛍光ランプ